

令和5年度 第1回成田市公民館運営審議会 会議概要

1. 開催日時

令和5年7月21日（金） 午後2時から午後3時10分まで

2. 開催場所

成田市赤坂1丁目1番地3
成田市中心公民館 2階視聴覚室

3. 出席者

(委員)

木川義夫会長、麻生辰浩委員、磯前勉委員、千葉秀幸委員、高木麻由子委員、
櫻井美恵子委員、天野義夫委員、長澤成次委員

(成田市教育委員会)

関川教育長、小川教育部長

(事務局)

大隅公民館長、小川主幹、寺里管理係長、田口主査、成田主任主事

4. 議事

- (1) 令和4年度公民館主催事業の報告及び令和5年度公民館主催事業の進捗状況について
- (2) 令和4年度公民館主要工事等の報告及び令和5年度公民館主要工事等の進捗状況について
- (3) 下総公民館1階会議室の用途変更について
- (4) 第41回成田市公民館まつりの開催について

5. 議事（要旨）

【議事（1）について】

要旨：事務局から令和4年度公民館主催事業の報告及び令和5年度公民館主催事業の進捗状況について説明を行った。その後、次のとおり質疑応答を行った。

(長澤委員)

成田市の公民館において、特徴的な事業である「外国人のための日本語教室」が、コロナで休止となっていたが、本年4月から再開されたことは大きなことである。

本日配布された「公民館だより」に玉造公民館のことが記載されているが、玉造公民館の名称を見て、大変歴史を感じた。案の定、7ページの「ニュータウン地区歴史散歩」のところで「八代玉作遺跡」のことが触れられていて、地名が関連しているんじゃないかと思った。歴史を学ぶことは、地域への愛着にも繋がるため、歴史関係の講座は、大事な事業であると思っている。

また、玉造公民館にはグランドピアノが設置してあるとの記載があった。グランドピアノを使用するような事業があるのかと思ったら、令和4年度に「玉造ファミリーコンサート」が第30回を迎えたとあり、これはどのようなきっかけで始まったのか、分かったら教えてほしい。

(天野委員)

音楽祭の実行委員をしているが、「玉造ファミリーコンサート」は、30年程前にクラシック音楽を身近に感じてもらうため、「成田フィルハーモニー」が地域貢献の一環として、地域の人を集め、玉造公民館の実習室で演奏を行ったのが始まりである。現在に至るまで、玉造公民館のグランドピアノを使ったり、ゲストとしてプロの演奏者を招いたりして開催してきた。去年はコロナの感染対策という面もあったが、公民館の休館日と重なったため、成田市文化芸術センタースカイタウンホールで開催した。玉造公民館での開催希望はあるが、演者や観客を合わせると100人以上となり、部屋の定員を超えてしまうため、今年から中央公民館の講堂で開催するようになった。

【議事（2）について】

要旨：事務局から令和4年度公民館主要工事等の報告及び令和5年度公民館主要工事等の進捗状況について説明を行った。本議事について、質疑はなし。

【議事（3）について】

要旨：事務局から下総公民館1階会議室の用途変更について説明を行った。その後、次のとおり質疑応答を行った。

(櫻井委員)

指定管理者制度について教えてほしい。

(事務局)

指定管理者制度は、民間の事業者には施設の管理・運営を委託するものであり、民間のノウハウを活用した質の高いサービスの提供や管理の質の向上を

目的としている。

また、市職員が各施設を巡回するよりも、指定管理者が施設に近い場所に常駐することで、施設の不具合が生じた際に早急に対応できる利点がある。既に中台運動公園や大谷津運動公園等において、指定管理者制度を導入している。

(櫻井委員)

公民館の使用については、従前同様か。

(事務局)

従前と変わらない。今回の指定管理者制度は、下総公民館には適用されず、下総運動公園の野球場などのスポーツ施設、遊具、及び緑地等の管理に適用される。

(木川会長)

下総公民館 1 階の会議室を指定管理者の事務室として使用するということが、公民館の運営に支障はないか。

(事務局)

下総公民館 1 階の会議室は、定員が 12 人で下総公民館の中では一番定員数が少ない部屋である。利用状況としては、コロナ禍前の通常活動が行われていた平成 30 年度の実績では、下総公民館全体の稼働率は 30%弱で、1 階の会議室は、約 7.5%で利用頻度が一番少ない。また、下総公民館には、2 階に定員 24 人の会議室が 2 部屋、28 人の集会室が 1 部屋、22 畳と 30 畳の和室が 2 部屋あるため、会議室を指定管理者の事務室に変えても運営上支障がないものと判断した。

【議事（4）について】

要旨：事務局から第 41 回成田市公民館まつりの開催について説明を行った。その後、次のとおり質疑応答を行った。

(高木委員)

4 年ぶりに公民館まつりが開催されることを楽しみにしている。実行委員会の目標のようなものがあったら伺いたい。

(櫻井委員)

公民館まつりの実行委員をしているが、従来は、まつりの運営を事務局である公民館職員が主体になってしまっていたということで、今年度からは実行委員会が主体となって運営ができるように発表部門や展示部門等の部門ごとに話し合いながら、準備を進めている。

(事務局)

公民館まつりを継続していくためには、本来の実行委員会形式の運営体制を構築することが重要であると考えている。そのため、事務局はサポートに回り、実行委員会が主体となって、まつりの運営が行えるような形にしていきたい。

(櫻井委員)

今回から実行委員会が運営の主体となるが、発表部門では、音響機器等の各種機械の操作方法が分からない人もいるため、うまくやっていけるか心配なところがある。

(事務局)

音響機器等の操作方法については、公民館職員から事前に説明を行うなど、サポートするので心配しないで頂きたい。

(木川会長)

千葉委員は、成田市子ども会連絡会で役員をされているが、子ども会まつりは、どのように運営されているのか。

(千葉委員)

コロナ禍でしばらく中止となっていたが、今年は子ども会まつりを計画しているところであり、単位子ども会を含めて、その他に協力団体を募って実施していこうと考えている。

(高木委員)

公民館まつりに参加する子育て団体の数を伺いたい。

(事務局)

数団体参加を予定している。子ども向けの内容としては、アイロンビーズの制作等がある。

(高木委員)

子どもだけで来ても楽しめるような公民館まつりになるか。

(事務局)

実行委員の方と一緒に子どもたちも楽しめるような公民館まつりにしていきたい。

(高木委員)

子どもたちは、公民館に来る機会が少ないので、公民館まつりを機会に足を運びやすくなったら良いと思う。

(千葉委員)

公民館まつりの駐車場はどのようになっているか。

(事務局)

駐車場については、公民館敷地内の駐車場のほかに臨時駐車場を確保している。

6. 傍聴

傍聴者 0人